

平成 30 年度業務実績に関する評価書（事務局案）の補足説明資料

I 平成 30 年度の業務実績評価について（1 ページ）

「公立大学法人長岡造形大学 業務実績評価（年度評価）実施要領」を記載。

II 評価結果

1 全体評価（2、3 ページ）

後述の「2 大項目別評価」及び「3 事業単位・指標単位評価」などを総合的に勘案し、「中期計画の進捗は順調である」と評価した。

2 大項目別評価（4～12 ページ）

○A評価（中期計画の進捗は順調）

「教育」、「研究」、「地域貢献」、「国際交流」、「自己点検・評価及び情報公開」

○B評価（中期計画の進捗は概ね順調）

「業務運営」、「財務」、「その他業務」

○判断基準

平成 29 年度までの進捗状況に加え、平成 30 年度業務実績及び取り組み状況などを総合的に勘案し、中期目標期間 5 年目終了時点での進捗状況を評価した。

3 事業単位・指標単位評価（13～39 ページ）

第 1 回評価委員会で、法人から示された「業務実績報告書」の右側に、事務局の評価とコメントを付した。

法人の自己評価と事務局の評価が異なる箇所は 1 か所であり、法人の自己評価が b 評価であったものを a 評価とした。

・ 14 ページの No. 6（大学院課程における受験生に向けた広報活動）

大学院説明会の開催のほか、新たな入試制度として「3on3 入試」を導入し、学内からの進学者の獲得を図っている。その結果、留学生 2 人を含む定員 15 人を充足した。

その他

評価書に記載した主な項目は以下のとおりである。

・ 3 ページの(3)平成 30 年度の特筆すべき取組

「起業演習（大学院）」において作成したビジネスアイデアが学外のコンテストで入賞するなど、教育効果の高い授業を実施していることは特筆すべき取組として記載した。

・ 3 ページの(4)課題・改善すべき点に関する意見

事務職員の昇任、昇格に関する基準について、中期目標期間内に制度を構築できるよう取組を進められたいとのコメントを付した。